


# 高等学校（北信地区）空調設備工事 実施設計

## 下高井農林高等学校

 長野県教育委員会

令和4年10月

図面リスト					
機械設備工事		電気設備工事		建築工事	
下M-00	機械設備 特記仕様書	下E-01	電気設備 特記仕様書	下A-01	改修特記仕様書・1
M-01	案内図・配置図	下E-02	案内図・配置図	下A-02	改修特記仕様書・2)
M-02	農業棟 平面図	下E-03	動力盤結線図	下A-03	案内図・配置図
M-03	林業棟 平面図	下E-04	受変電改修設備図	下A-04	農業棟 平面図
M-04	機械設備標準図	下E-05	農業棟 平面図	下A-05	林業棟 平面図
		下E-06	林業棟 平面図		





・作業の安全について、一般の人が立ち入らないような対策として次の対策等を行う  
 足場は上りシート巻・禁止看板等を設置する。  
 屋内作業範囲は立入禁止としA型バリケード又はコーンによる区画。  
 工事は原則休日に行う事とする。  
 機材の運搬時などは十分な打合せを行い、時間帯の調整を行う事。

アスベスト処理特記仕様書

※ 下高井農林高校 : 農業棟 の外壁塗材にアスベスト含有

アスベスト含有塗材の処理については以下による。なお、記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁登録部 監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」公共建築 改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版)による。

・アスベスト含有仕上塗材の除去。  
 除去対象範囲 アスベスト含有仕上塗材の使用された外壁面で、  
 壁貫通又はアンカー打設に必要な部分(コア抜き直径100mm程度、アンカー打直径50mm以下)  
 (施工場所は平面図参照)

除去工法 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法  
 集じん装置併用工具ケレン工法  
 剥離剤併用工具ケレン工法  
 その他(工事場所を所管する労働基準監督署の指導する工法)

除去したアスベスト含有仕上塗材等の飛散防止  
 密封処理(使用した保護衣等含む)

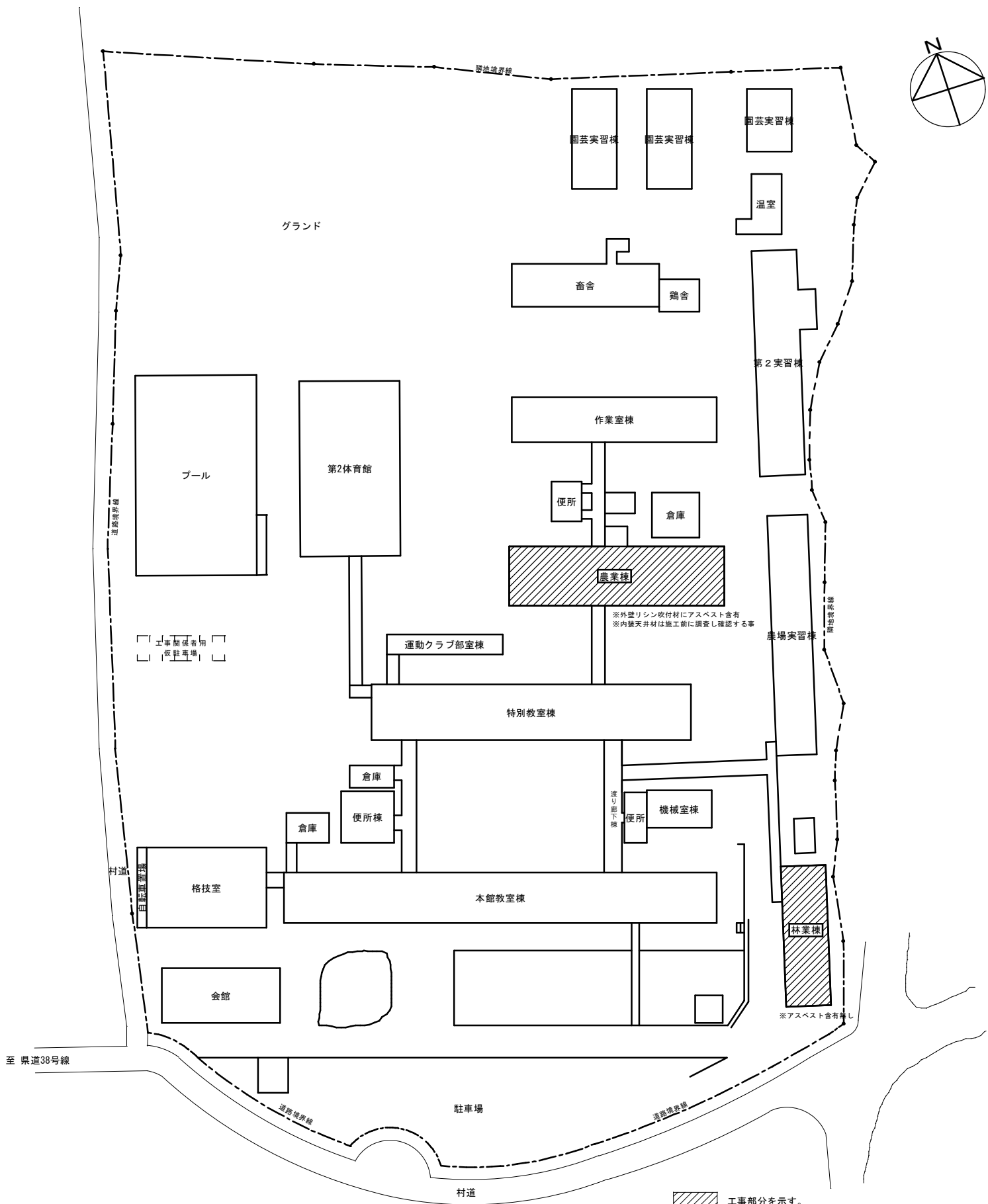
除去したアスベスト含有仕上塗材等の処分  
 埋立処分(管理型最終処分)

・アスベスト含有せつこうボードの除去(レベル3)。  
 除去対象範囲 図示  
 作業場の隔離 行う  
 除去したアスベスト含有せつこうボードの処分  
 埋立処分(管理型最終処分)

工事の着手、施工、完成にあたり、特定粉じん排出等作業実施届出書(大気汚染防止法)、建設工事計画届(労働 安全衛生法)、その他関係法令等により必要とされる手続き等を、関係機関に対して遅滞なく行うこと。

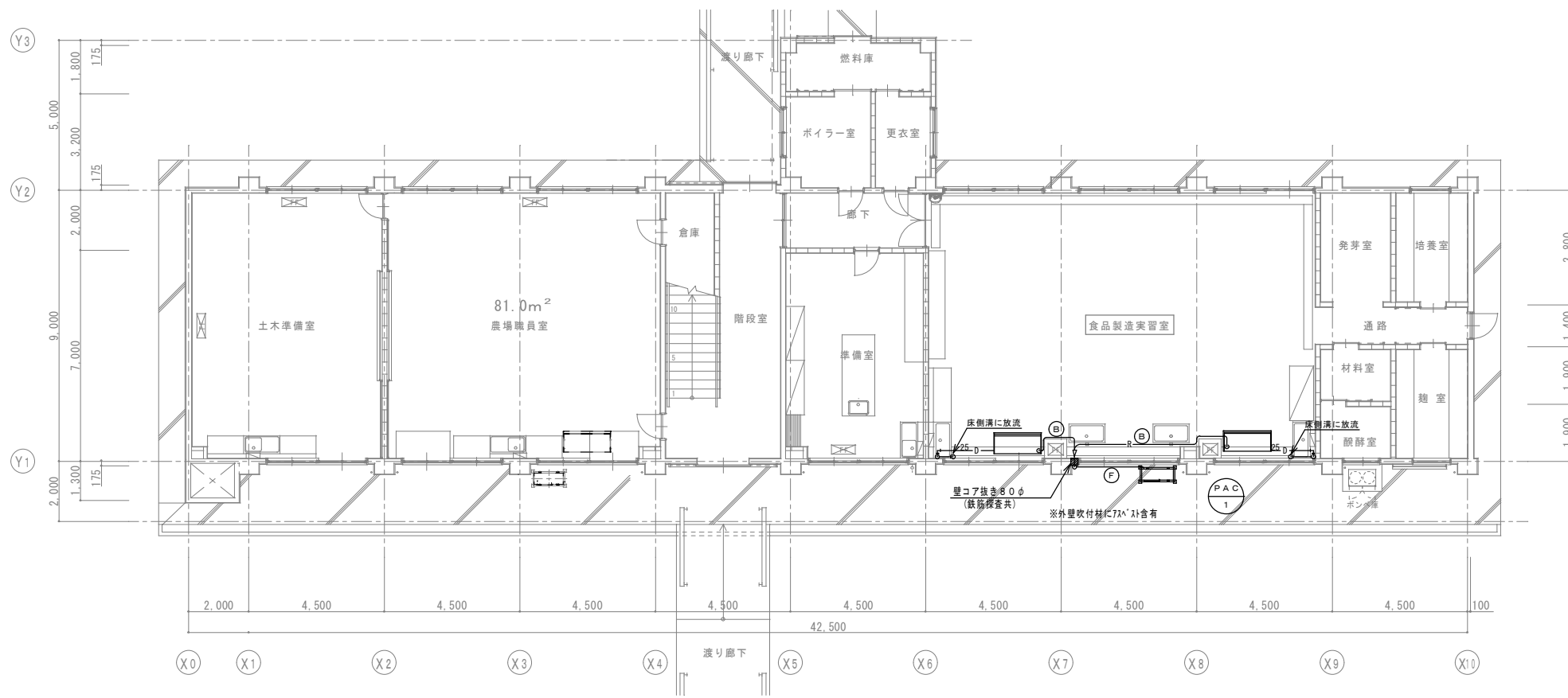
概略工事工程表

月日	1か月		2~3か月		4か月		5か月	
	10	20			10	20	10	20
機械設備工事	①準備工		②天板開口		③アルミカット打保		④室内配管配線	
電気設備工事	①準備工		②天板開口		③室内配管配線		④受変電設備配線	
建築工事	①準備工		②天板開口		③室内配管配線		④足場解体	
検査								



配置図・仮設計画図

記号	形式	設置形式	送風形式	定格能力 (冷房) (kW)	定格能力 (暖房) (kW)	定格消費電力			APF	圧縮機			送風機 (室内)			送風機 (屋外)			台数	設置場所	備考
						冷房	暖房	最大低温		相	V	kW	相	V	kW	相	V	kW			
PAC-1	●ヒートポンプ形 (ツイン) (厨房用)	天吊	1方向	25.0	28.0	8.41	8.19	9.56	4.0	3	200	6.00	1	200	0.080×4	3	200	0.200×2	1	農業棟 食品製造実習室	置型架台 (犬走り固定) M-04 標準図参照
PAC-2	●ヒートポンプ形 (ツイン)	天吊	1方向	20.0	22.4	6.31	5.88	9.18	4.7	3	200	4.60	1	200	0.160×2	3	200	0.150×2	1	林業棟 育林実習室	ブラケット架台 (腰壁) M-04 標準図参照
<p>備考</p> <p>1. 定格能力 (冷房)、定格能力 (暖房)、定格消費電力 (冷房)、定格消費電力 (暖房) は JISB8616 による。</p> <p>2. 暖房能力には補助加熱器の加熱能力を含む。</p> <p>3. 冷媒は R32 とする。</p> <p>4. 電気ヒーター及び加湿器を組込む場合は、送風機とインターロックする。</p> <p>5. 屋内、屋外ユニット間の電気配線 (アース共) の仕様は製造者の標準仕様とし、付属とする。</p> <p>6. 冷媒配管の口径は製造者の標準とする。</p> <p>7. 圧縮機は (○室内形 ●屋外形)</p> <p>8. 進相コンデンサー (○要 ●不要)</p> <p>9. 運転時間表示用端子 (○要 ●不要)</p> <p>10. 遠方発停用端子 (○要 ○不要)</p> <p>11. 屋内ユニットの基礎は (○標準基礎 ○) とする。ただし圧縮機屋外形は不要とする。</p> <p>12. 屋外ユニットの基礎は (○標準基礎 ○防振基礎) とする。</p> <p>13. リモコンスイッチ (●ワイヤード (配線共) ○ワイヤレス) は機器付属品とする。(室内機床置形を除く) ( 個 ( 台用) )</p> <p>14. 屋外ユニットに耐震用転倒防止金物取付のこと。</p>																					

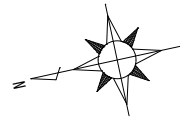


記号	ガス管/液管
A	φ12.7/φ6.4
B	φ15.9/φ9.5
C	φ19.1/φ9.5
D	φ22.2/φ9.5
E	φ25.4/φ9.5
F	φ25.4/φ12.7
G	φ28.6/φ12.7
H	φ28.6/φ15.9
I	φ31.8/φ15.9
J	φ31.8/φ19.1
K	φ38.1/φ19.1
L	φ38.1/φ22.2
M	φ44.5/φ22.2

凡例

- : 床コア抜き箇所
- : 壁コア抜き箇所

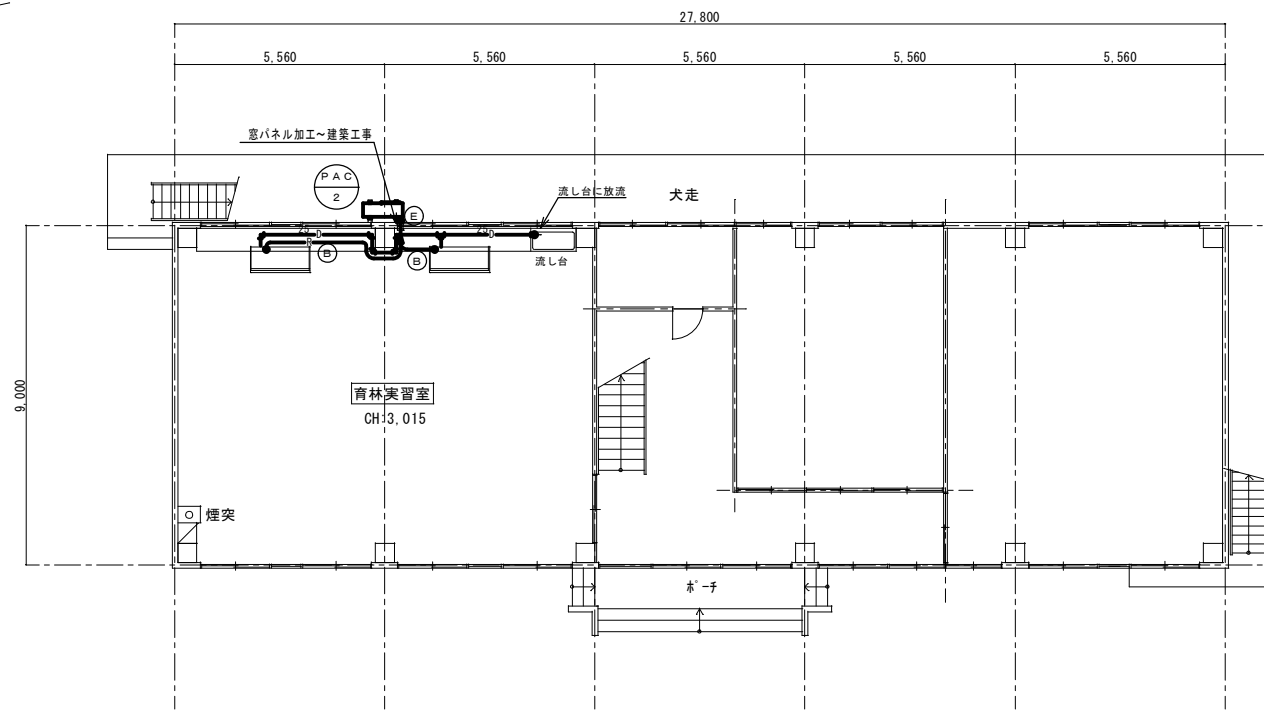
1階平面図 S=1/100



冷媒配管サイズ	
記号	ガス管/液管
(A)	φ12.7/φ6.4
(B)	φ15.9/φ9.5
(C)	φ19.1/φ9.5
(D)	φ22.2/φ9.5
(E)	φ25.4/φ9.5
(F)	φ25.4/φ12.7
(G)	φ28.6/φ12.7
(H)	φ28.6/φ15.9
(I)	φ31.8/φ15.9
(J)	φ31.8/φ19.1
(K)	φ38.1/φ19.1
(L)	φ38.1/φ22.2
(M)	φ44.5/φ22.2

凡例

- : 床コア抜き箇所
- : 壁コア抜き箇所



1階平面図 S=1/100

施工 1 2 4 エアコン室外機の基礎

解説 & 留意事項

1. 寸法は図示によるが、図示なき場合は、本寸法を標準とする
2. 犬走りへの定着筋の埋込み長さ(L)は、定着筋径の35倍以上とする
3. 基礎には、鉄筋 (D10-200@タテ・ヨコ) にて補強する
4. 屋外機からのデフロスト水が氷結し機器を押し上げて破損する場合がありますので、寒冷地では機器の下端を積雪を考慮して設定すること。

エアコン室外機 (平置き架台)

解説 & 留意事項

1. 寸法は図示によるが、図示なき場合は、本寸法を標準とする
2. 屋外機からのデフロスト水が氷結し機器を押し上げて破損する場合がありますので、寒冷地では機器の下端を積雪を考慮して設定すること。
3. 室外機を犬走りに平置き架台で支持する場合は、ブラケット及び支持アンカーボルト計算を行い安全性を確認する。

エアコン室外機 (壁ブラケット)

解説 & 留意事項

1. 寸法は図示によるが、図示なき場合は、本寸法を標準とする
2. 屋外機からのデフロスト水が氷結し機器を押し上げて破損する場合がありますので、寒冷地では機器の下端を積雪を考慮して設定すること。
3. 室外機を外壁にブラケット支持する場合は、ブラケット及び支持アンカーボルト計算を行い安全性を確認する。

機器取付天井開口要領図

防火区画貫通処理 (冷媒配管) 要領図

参考品名 耐火キャップC (IRC-C)・・・因幡電工  
 国土交通大臣認定 PS060FL-9369 (床)  
 国土交通大臣認定 PS060WL-9370 (壁)  
 (財) 日本消防設備安全センター 評定 評10-026号-1 (変) (令6)

防火区画貫通処理 (配線) 要領図

←→ ケーブル又はPF管貫通処理 (中空壁貫通部)  
 国土交通大臣認定番号 PS060WL-0522 (相当品番・未来工業)  
 (尚、ケーブル及び配管・20φ×10本以下範囲に1ヶ所)

防火区画貫通部の処理

【※】耐火二層管の施工の場合は、性能評価内容の資料を監督員に提出し承認を受けること。

施工 1 2 5 機器の基礎及び架台の固定方法

解説 & 留意事項

1. 防振基礎の場合は、ストッパを設け、浮かし基礎を間接固定する。
2. 防振基礎のストッパは、水平方向および鉛直方向の地震力が静的に作用した状態において十分な耐力を有するもので、ストッパと機器本体との隙間は平常運転時に接触しない程度とし、地震時に接触するストッパの面にはゴム材等の緩衝材を取り付ける。
3. 軽量機器 (100kg以下) の固定は、監督員と協議により後施工アンカーを採用できる。





### アスベスト処理特記仕様書

※ 下高井農林高校：農業棟の外壁塗材にアスベスト含有

アスベスト含有建材の処理については以下による。なお、記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁事務部監修「建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）」「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。

・アスベスト含有仕上塗材の除去

除去対象範囲 アスベスト含有仕上塗材の使用された外壁面で、壁貫通又はアンカー打設に必要な部分（コア抜き直径100mm程度、アンカー打直径50mm以下）（施工場所は平面図参照）

除去工法 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法  
集じん装置併用手工具ケレン工法  
剥離剤併用手工具ケレン工法  
その他（工事場所を所管する労働基準監督署の指導する工法）

除去したアスベスト含有仕上塗材等の飛散防止  
密封処理（使用した保護衣等含む）

除去したアスベスト含有仕上塗材等の処分  
埋立処分（管理型最終処分）

・アスベスト含有せつこうボードの除去（レベル3）

除去対象範囲 図示

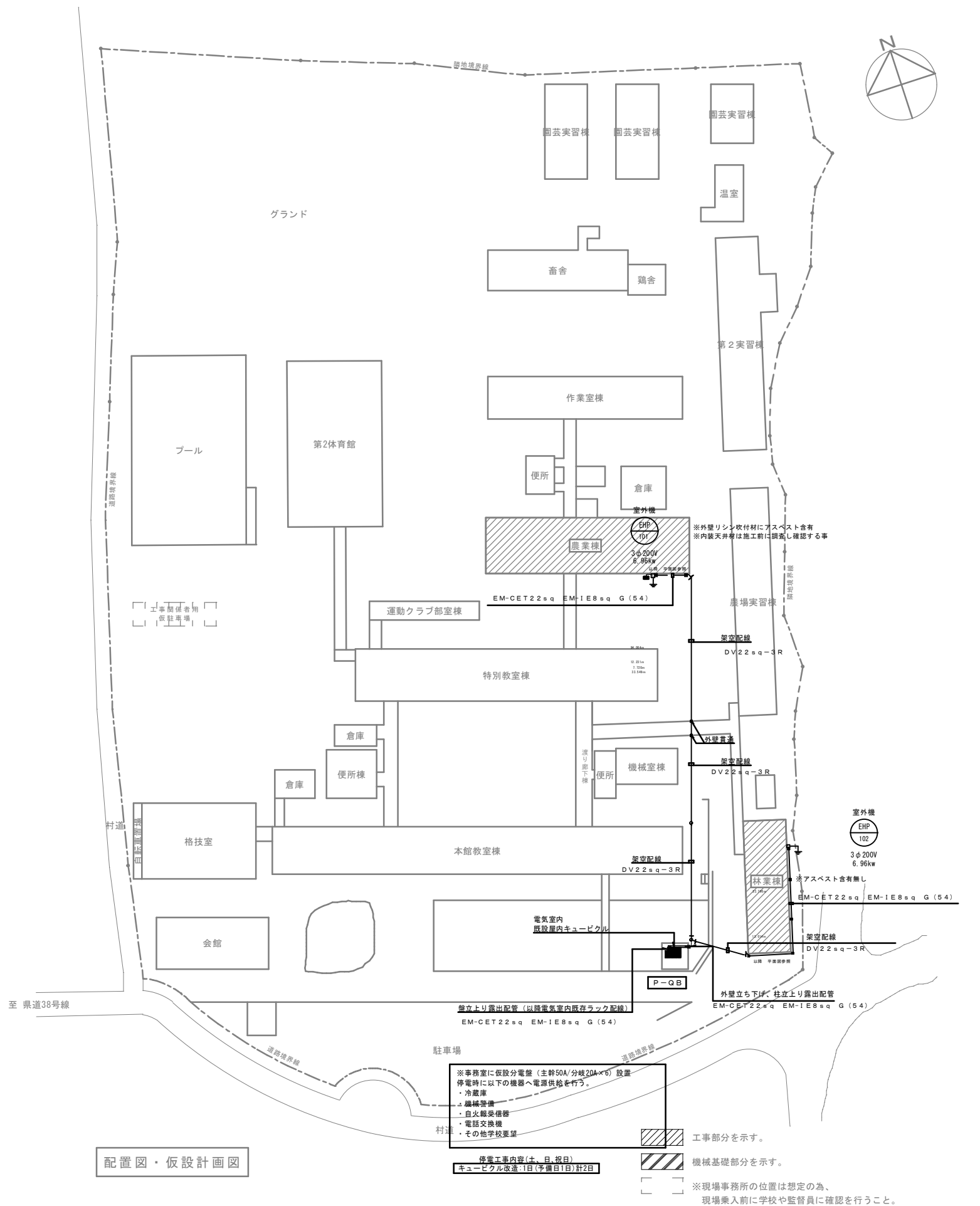
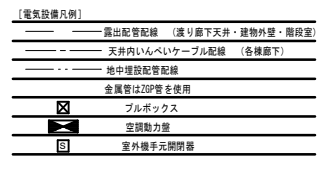
作業場の隔離 行う

除去したアスベスト含有せつこうボードの処分  
埋立処分（管理型最終処分）

工事の着手、施工、完成にあたり、特定物じん排出等作業実施届書（大気汚染防止法）、建設工事計画届（労働安全衛生法）、その他関係法令等により必要とされる手続き等を、関係機関に対して遅滞なく行うこと。

- #### 〇工事概要
1. 本工事は、空調設備設置（EHP方式）に伴う電気設備の改修を行う。
  2. 施工にあたっては、施設管理者と十分に打ち合わせをすること。
  3. 受変電設備改修の際の停電時間は最小限にする。
  4. 停電工事の際は事前に学校側と実施スケジュールの打ち合わせを行い、停電・復電時の対応について協議する。

※コア抜きを行う場合  
既存配管（熱感知器等）を断線しない対策を行う。  
・X線探査・バイパス線・弱電業者の立会等

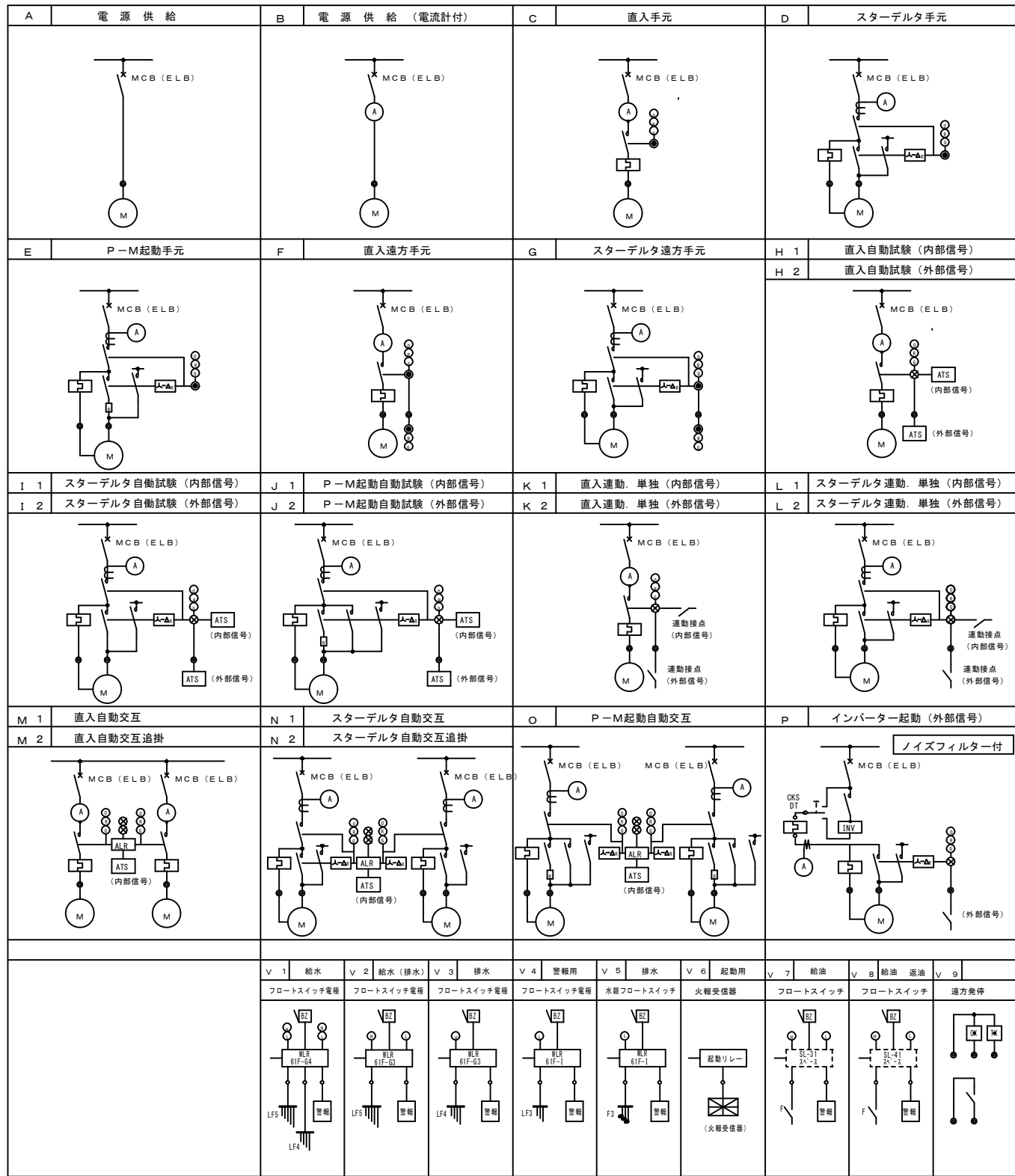


配置図・仮設計画図

※事務室に仮設分電盤（主幹50A/分岐20A×6）設置  
停電時に以下の機器へ電源供給を行う。  
・冷蔵庫  
・機械室機  
・自火報受信機  
・電話交換機  
・その他学校要望

停電工事内装（土、日、祝日）  
キュービクル改造1日（予備日1日）計2日





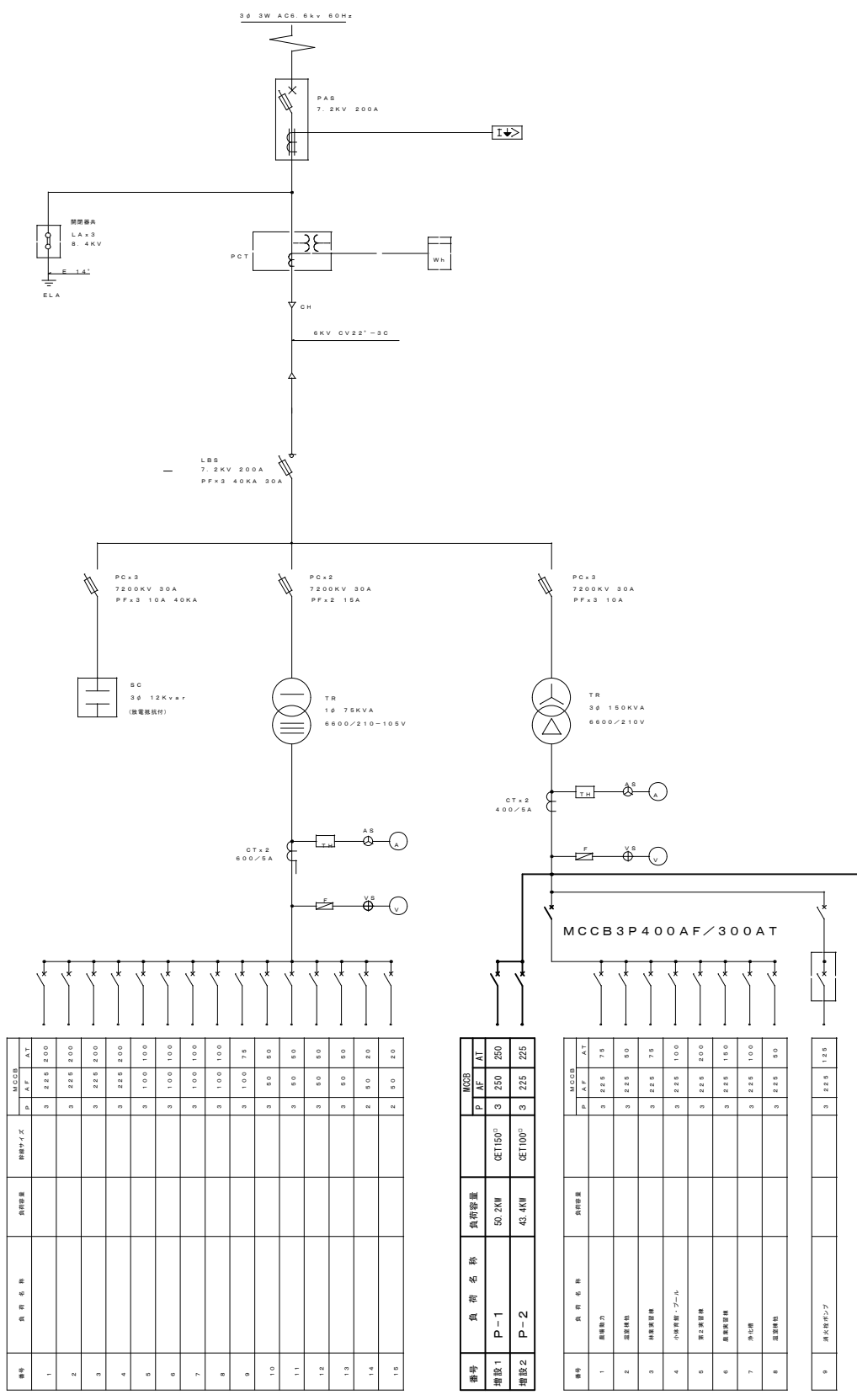
凡例

記号	名称	記号	名称
MCB	配線用遮断器	F	フロートスイッチ
ELB	配線用漏電遮断器	計	計器用変流器
MCCB	電動機保護用遮断器	△	スターデルタタイマー
MELB	電動機保護用漏電遮断器	ALR	自動交互リレー
電流計		電	液面リレー
電磁接触器		R	水銀フロートスイッチ用リレー
表示灯緑(停止)		INV	インバーター制御装置
表示灯赤(運転中)		ATS	自動スイッチ
表示灯黄(故障)		満	満水、満油用表示灯
押しスイッチ		減	減水、減油用表示灯
切替スイッチ		42	マグネットスイッチ
LF	フロートスイッチ電極	サ	サーマルリレー

注

- 電流計は赤指針付とし定格電流が30Aを超えるものはCT付とする。
- 電動機保護用遮断器 (MCCB) 電動機保護用漏電遮断器 (MELB) は、電動機の定格電流に適合したものを選定すること。
- ELBはトリップ警報端子付、MCはサーマルトリップ警報付。
- 中央監視制御対象機器は、故障、動作表示の各々A接点×1を取付とする。及び操作対象機器は起動用リレー2・4V取付とする。

盤名称	幹線系統	負荷				発電機回路	電気方式		結線方式	ブレーカー仕様及容量				インターロック及連動	強制停止回路	トリップ表示	遠方へ操作及び表示				備考
		機器番号	名称	容量(KW)	定格冷房消費電力容量(KW)		定格暖房消費電力容量(KW)	相数		電圧(V)	制御	MCCB	MELB				MCB	ELB	設置場所	発停	
電気室 P-QB 3φ3W 210V 受変電設備 側面取付	P-1		P-1^			6.96	3	200	A			3P 50/40									
			P-2^			6.96	3	200	A			3P 50/40									
13.92kw																					
P-1 3φ3W 210V OET 22° 防水型 露出型	P-1		EHP-1室外機①			6.96	3	200	A			3P 50/40								6.96	
			EHP-2室外機①			6.96	3	200	A			3P 50/40									6.96
6.96																					
P-2 3φ3W 210V OET 22° 防水型 露出型	P-2		EHP-1室外機①			6.96	3	200	A			3P 50/40									
			EHP-2室外機①			6.96	3	200	A			3P 50/40									
6.96																					



番号	負荷名称	負荷容量	MCCB	
			P AF	AT
1			3	225 200
2			3	225 200
3			3	225 200
4			3	225 200
5			3	100 100
6			3	100 100
7			3	100 100
8			3	100 100
9			3	100 75
10			3	50 50
11			3	50 50
12			3	50 50
13			3	50 50
14			2	50 20
15			2	50 20

受電設備 単線結線図

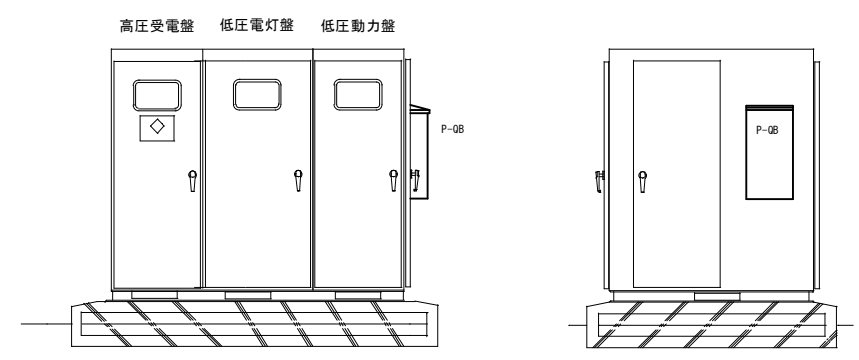
番号	負荷名称	負荷容量	MCCB	
			P AF	AT
増設1		50.2kW	3	250 250
増設2		43.4kW	3	225 225

番号	負荷名称	負荷容量	MCCB	
			P AF	AT
1	照明電力		3	225 75
2	空調機		3	225 50
3	照明器具		3	225 75
4	冷暖房機(2台)		3	225 100
5	冷暖房機		3	225 200
6	冷暖房機		3	225 150
7	冷気機		3	225 100
8	冷暖房機		3	225 50
9	冷暖房機		3	225 125

番号	負荷名称	負荷容量	MCCB	
			P AF	AT
増設1		6.9kW	3	50 40
増設2		6.9kW	3	50 40

QB外付盤  
P-QB  
動力盤図重複

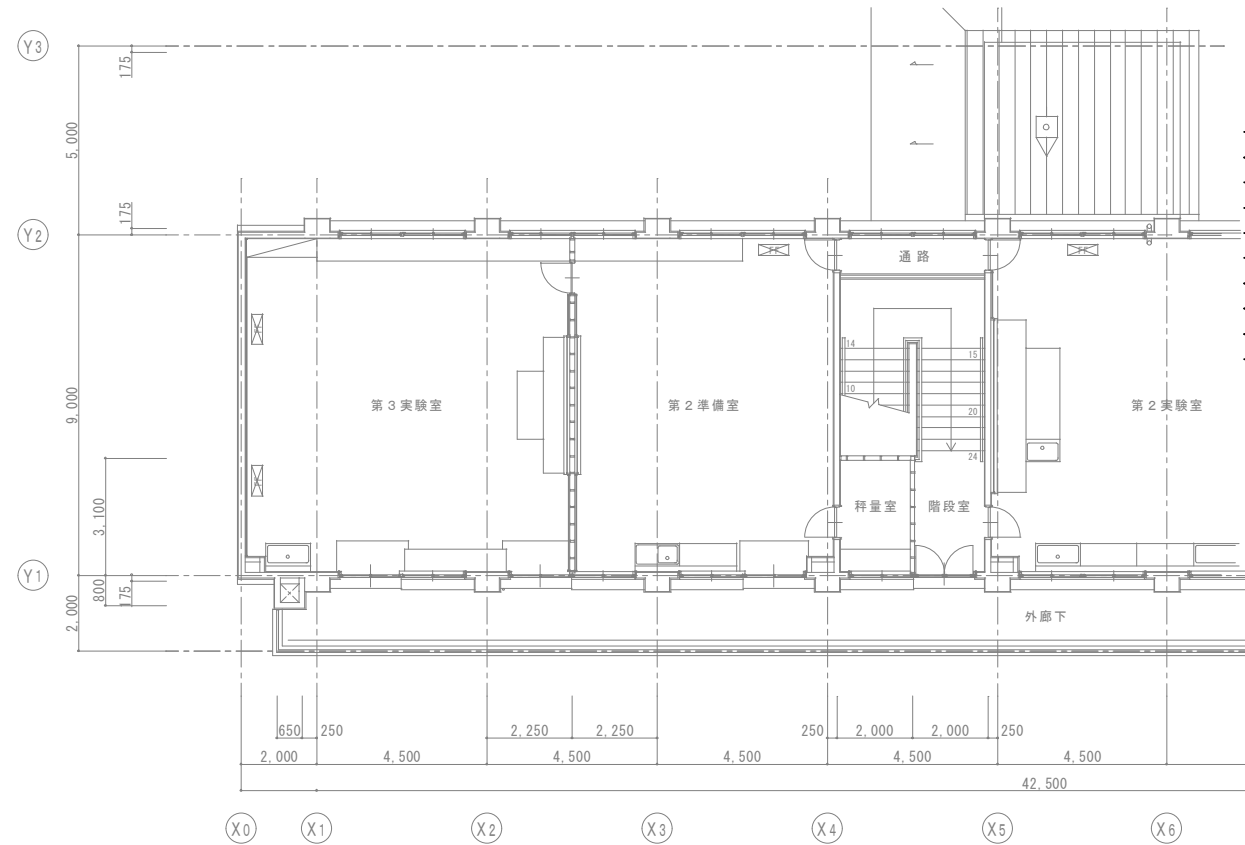
※既存アースを再使用し、接続する。  
※更新機器の異常警報は既存同様となるように接続、出力可能にすること。



西面

北面

屋内キュービクル  
既存受変電設備 参考外形図



注 記

- 特記なき配管配線は下記による。  
 隠ぺい配管配線  
 露出配管配線  
 天井コログアシ配線  
 金属管はZGP管を使用
- 動力機器接続には金属製可とう電線管(ビニル被覆付)を用いる。
- 室外機~室内機の渡り配線及びリモコン用配線は空調(機械設備)工事とする。
- 電線管支持材は高耐食性めっき鋼板仕様とする。

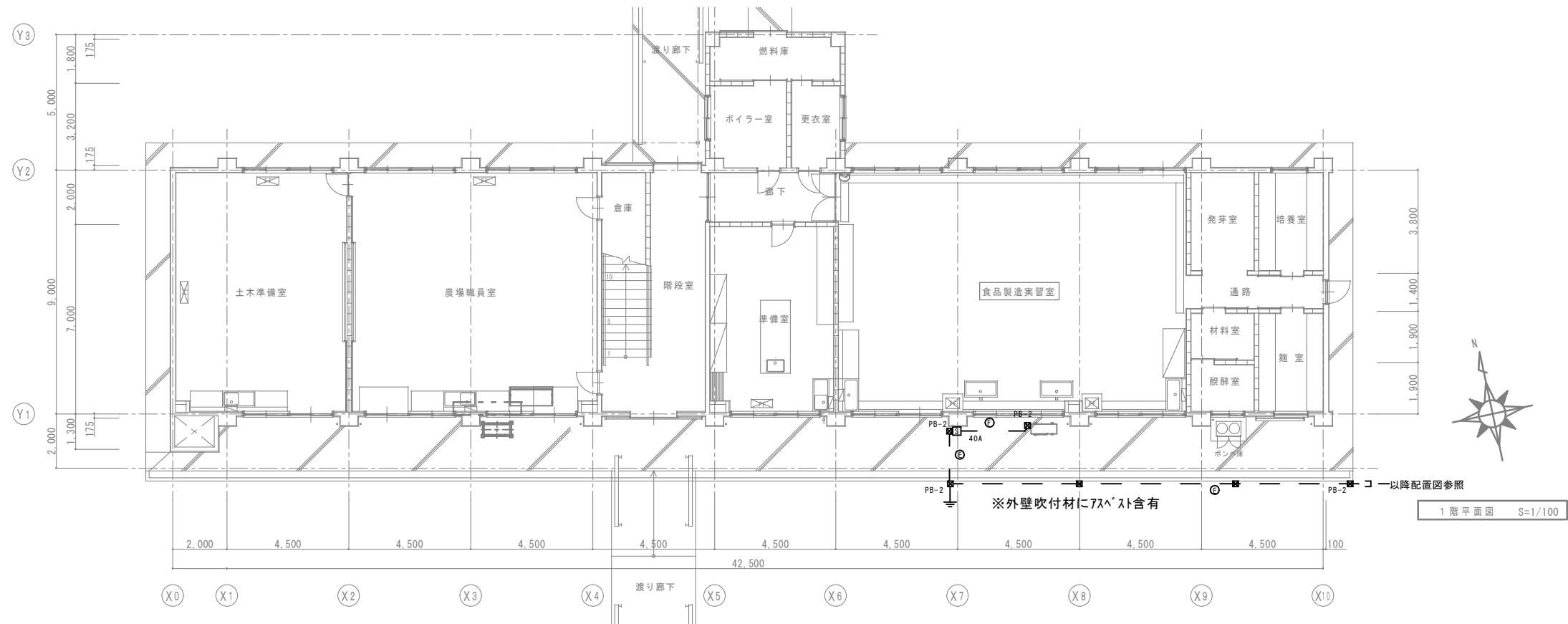
凡 例

記 号	名 称	備 考
■	動力分電盤	
□	手元開閉器盤	傍記: 開閉器サイズを示す。
⊠	プルボックス	WP:防水形
▽	メタルモールコーナーボックス	
△	動力分岐回路	盤結線図参照
—	立上げ部配線保護管	
—	壁貫通部配線保護管	
■	R C壁コアドリル穴明け	簡易鉄筋探査共
●	防火区画貫通処理箇所	
■	既設分電盤	
○	ジョイントボックス	0-BOX(102×102×44)
□	天井点検口450口	建築工事

電線・配管サイズ		金属管はZGP管を使用
記 号	電線/配管	
(A)	EM-CE5.5sq-3c, EM-IE2.0/G-28	
(B)	EM-CE5.5sq-3c, EM-IE2.0/G-28・#30	
(C)	EM-CET8sq, EM-IE2.0/G-36	
(D)	EM-CET8sq, EM-IE2.0/G-36・#38	
(E)	EM-CET22sq, EM-IE5.5/G-42	
(F)	EM-CET22sq, EM-IE5.5/G-42・#50	
(G)	EM-CET150sq, EM-IE22sq/G-70	
(H)	EM-CET150sq, EM-IE22sq/G-70 #76	
(I)	EM-CET100sq, EM-IE22sq (天井内)	
(J)	EM-EEF2.0-3c (天井内)	
(K)	EM-CET22sq, EM-IE5.5/G-36・#38	
(L)	EM-CET38sq, EM-IE5.5/G-42・#50	
(M)	EM-CET60sq, EM-IE5.5/G-54・#50	

プルボックス サイズ	
記 号	サイズ
PB-1	SS150X150X150 WP(SUS)
PB-2	SS200X200X200 WP(SUS)
PB-3	SS300X300X300 WP(SUS)
PB-4	SS400X400X300 WP(SUS)

記 号	コア抜き箇所数	区画貫通処理 箇所数
(1)	50φ×280mm	
(2)	88φ×230mm	1
(3)	88φ×150mm	1



1階平面図 S=1/100

注 記

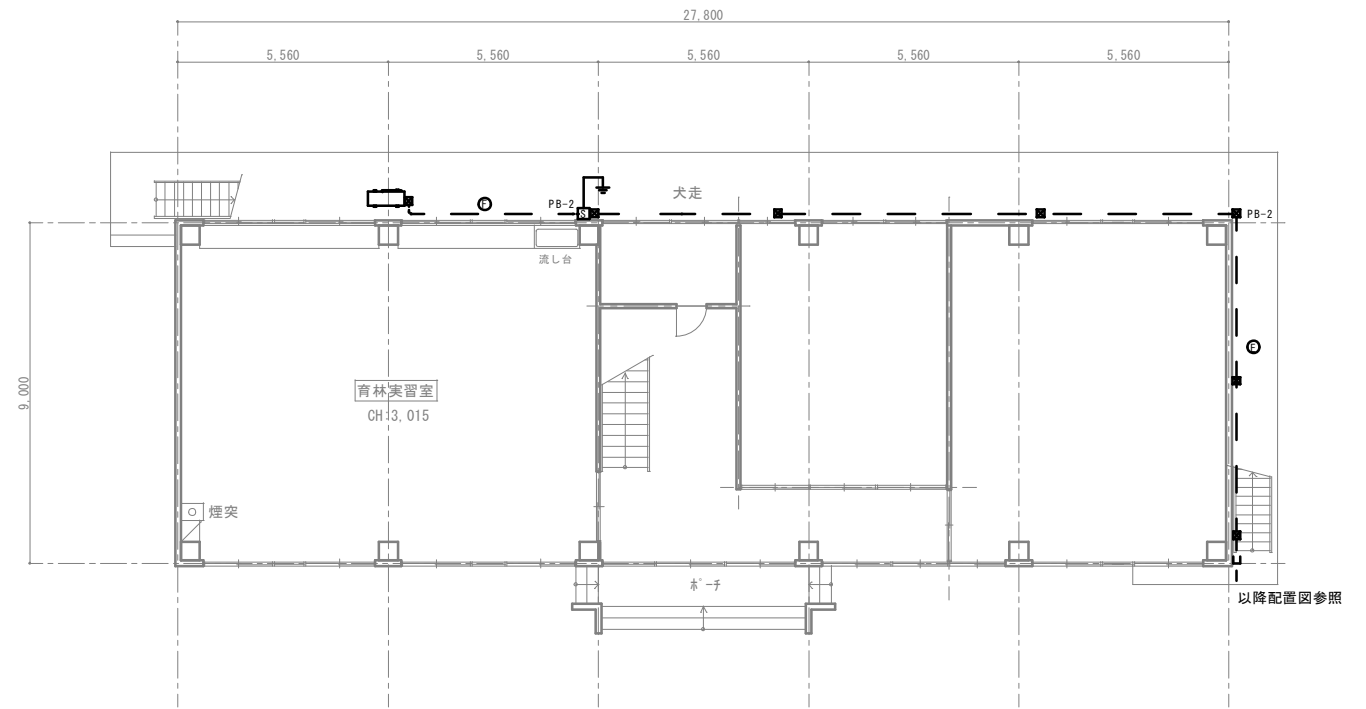
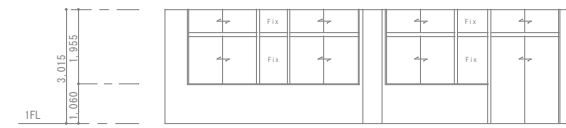
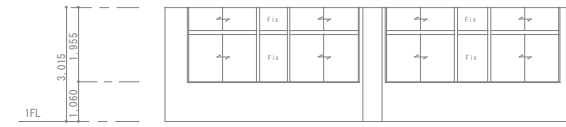
- 特記なき配管配線は下記による。  
 隠ぺい配管配線  
 露出配管配線  
 天井コログン配線  
 金属管はZGP管を使用
- 動力機器接続には金属製可とう電線管(ビニル被覆付)を用いる。
- 室外機~室内機の渡り配線及びリモコン用配線は空調(機械設備)工事とする。
- 電線管支持材は高耐食性めっき鋼板仕様とする。

凡 例		
記 号	名 称	備 考
■	動力分電盤	
□	手元開閉器盤	傍記:開閉器サイズを示す。
☒	プルボックス	WP:防水形
▽	メタルモールコーナーボックス	
△	動力分岐回路	盤結線図参照
—	立上げ部配線保護管	
—	壁貫通部配線保護管	
■	RC壁コアドリル穴明け	簡易鉄筋探査共
●	防火区画貫通処理箇所	
◻	既設分電盤	
⊗	ジョイントボックス	O-BOX(102×102×44)
Ⓜ	天井点検口450口	建築工事

電線・配管サイズ	
記 号	電線/配管
Ⓐ	EM-CE5.5sq-3c, EM-1E2.0/G-28
Ⓑ	EM-CE5.5sq-3c, EM-1E2.0/G-28・#30
Ⓒ	EM-CET8sq, EM-1E2.0/G-36
Ⓓ	EM-CET8sq, EM-1E2.0/G-36・#38
Ⓔ	EM-CET22sq, EM-1E5.5/G-42
Ⓕ	EM-CET22sq, EM-1E5.5/G-42・#50
Ⓖ	EM-CET150sq, EM-1E22sq/G-70
Ⓗ	EM-CET150sq, EM-1E22sq/G-70 #76
Ⓘ	EM-CET100sq, EM-1E22sq (天井内)
⓵	EM-EEF2.0-3c (天井内)
Ⓚ	EM-CET22sq, EM-1E5.5/G-36・#38
Ⓛ	EM-CET38sq, EM-1E5.5/G-42・#50
Ⓜ	EM-CET60sq, EM-1E5.5/G-54・#50

プルボックス サイズ	
記 号	サイズ
PB-1	SS150X150X150 WP(SUS)
PB-2	SS200X200X200 WP(SUS)
PB-3	SS300X300X300 WP(SUS)
PB-4	SS400X400X300 WP(SUS)

記 号	コア抜き箇所数	区画貫通処理 箇所数
①	50φ×280mm	
②	88φ×230mm	1
③	88φ×150mm	1



仕上げ  
 腰壁: コンクリートブロック VP塗  
 外壁: 石膏ボード+複合板t20 VP塗  
 腰壁(内外): コンクリートブロック VP塗  
 だんねつざ内壁: 複合板t20 VP塗(断熱材なし)  
 天井: 化粧石膏ボード張  
 土間下: スタイロフォームt50

下高井農林高校 空調設備工事 設計図
特記仕様書
1. 工事概要
1. 工事場所
2. 敷地面積
3. 工事種目
4. 工事内容
5. 指定部分
6. 工事範囲

II 管理技術者等
設計事務所名
主任担当技術者
意匠担当
積算担当
電気設備担当
機械設備担当

III 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、① 印の付いたものを適用する。
3) ① 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
(1) 項目
(2) 電気保安技術者
(3) 発生材の処理等
(4) 環境への配慮
(5) 材料の品質等
(6) 特別な材料の工法
(7) 施工数量調査
(8) 設備工事との取合い
(9) 技能士

11 室内空気中の化学物質の濃度測定
12 埋設配管・配線および鉄筋調査
13 完成図等
14 完成写真
15 足場その他
16 仮設工事
17 仮設間仕切り
18 監督員事務所
19 工事用水
20 工事用電力
21 改修範囲
22 既存床の撤去及び下地補修
23 内装改修工事

24 既存壁の撤去及び下地補修
25 軽量鉄骨天井下地
26 軽量鉄骨壁下地
27 セッコウボード
28 JIS 記号
29 種別
30 仕上がり(厚さmm)
31 仕様
32 仕様
33 仕様
34 仕様
35 仕様
36 仕様
37 仕様
38 仕様
39 仕様
40 仕様
41 仕様
42 仕様
43 仕様
44 仕様
45 仕様
46 仕様
47 仕様
48 仕様
49 仕様
50 仕様
51 仕様
52 仕様
53 仕様
54 仕様
55 仕様
56 仕様
57 仕様
58 仕様
59 仕様
60 仕様
61 仕様
62 仕様
63 仕様
64 仕様
65 仕様
66 仕様
67 仕様
68 仕様
69 仕様
70 仕様
71 仕様
72 仕様
73 仕様
74 仕様
75 仕様
76 仕様
77 仕様
78 仕様
79 仕様
80 仕様
81 仕様
82 仕様
83 仕様
84 仕様
85 仕様
86 仕様
87 仕様
88 仕様
89 仕様
90 仕様
91 仕様
92 仕様
93 仕様
94 仕様
95 仕様
96 仕様
97 仕様
98 仕様
99 仕様
100 仕様

① せっこうボード  
その他のボード張り

Table with columns: 種類, JIS記号, 厚さ(mm), 規格等. Lists various board types like 硬質木モセメント板, ロックウール化粧吸音板, etc.

④ 材料

せっこうボード等の下地は図示による。  
遮音シール材 適用する(シーリング材・ジョイントコンパウンド) 適用しない

⑤ 下地調整

Table for 下地調整 (Underground Adjustment) with columns: 下地面の種類, 下地調整の種類, 仕上げ部. Lists items like 木部, 鉄鋼面, コンクリート面, etc.

3 錆止め塗料塗り

Table for 錆止め塗料塗りの種類 (Rust Prevention Coating Types) with columns: 鉄鋼面, E P-G, 亜鉛めっき面, etc.

① 塗装

Table for 塗装の種類 (Painting Types) with columns: 塗装の種類, 塗装面, 塗替え, 新規. Lists items like 合成樹脂調合ペイント塗り, 鉄鋼面, etc.

② (基礎工事)

Table for 埋戻し及び盛土 (Backfilling and Filling) with columns: 埋戻し及び盛土の種類, 適用場所. Lists items like A種, B種, C種, D種.

③ 建設発生土の処理

※現場説明書による・構内指示の場所に堆積 ○構内指示の場所に敷き均し  
・ 郊外搬出適正処理

3 山留めの存置

存置範囲(※図示)による

1 アスベスト含有分析調査

施工調査 [9.1.1, 3~5]  
※アスベスト含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、目視及び貨与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

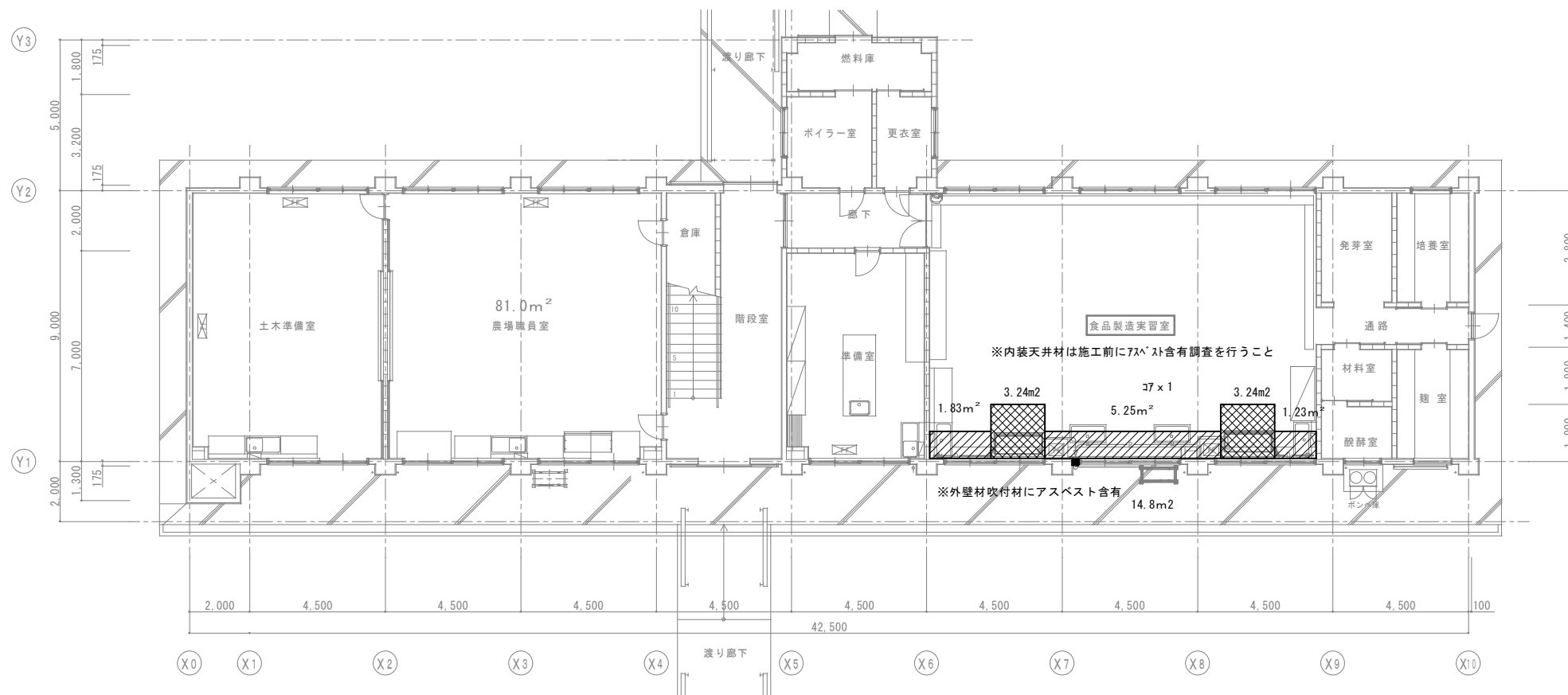
② アスベスト粉じん濃度測定

Table for アスベスト粉じん濃度測定 (Asbestos Dust Concentration Measurement) with columns: 測定時期, 場所及び測定点, 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定点.

③ アスベスト含有建材の処理

アスベスト含有吹き付け材の除去  
除去対象範囲 ○図示  
除去工法 ※9.1.3(b)(1)による  
除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化



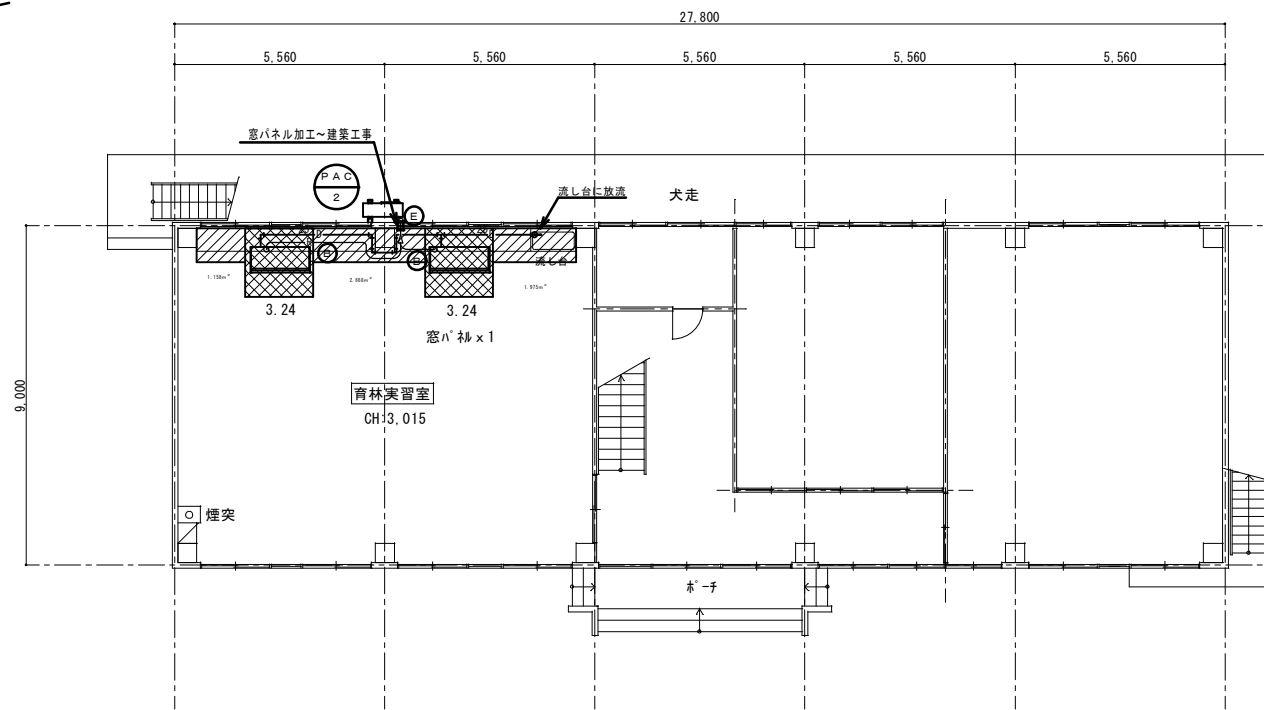
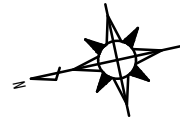


- 枠組み足場 (W900) : 0 m<sup>2</sup>
- 天井材：撤去新設 (化粧石膏板・ト) : 14.8 m<sup>2</sup>
- 軽鉄天井下地 (19) : 6.48 m<sup>2</sup>
- 外部コア抜き x 1箇所
- 開口補強 x 0箇所

1階平面図 S=1/100

仕上げ  
 腰壁：コンクリートブロック VP塗  
 外壁：石膏板・ト+複合板t20 VP塗  
 腰壁（内外）：コンクリートブロック VP塗  
 だんねつぎ内壁：複合板t20 VP塗（断熱材なし）  
 天井：化粧石膏板・ト張  
 土間下：スチロフォームt50





1 階平面図 S=1/100

12.28m<sup>2</sup>

- 枠組み足場 (W900) : 0 m<sup>2</sup>
- 天井材: 撤去新設 (化粧石膏板) : 12.3 m<sup>2</sup>
- 軽鉄天井下地 : 6.48 m<sup>2</sup>
- 外部コア抜き : x 0箇所
- 開口補強 : x 0箇所

仕上げ  
 腰壁: コンクリートブロック VP塗  
 外壁: 石膏ボード+複合板t20 VP塗  
 腰壁(内外): コンクリートブロック VP塗  
 だんねつぎ内壁: 複合板t20 VP塗 (断熱材なし)  
 天井: 化粧石膏ボード張  
 土間下: スライダールt50

番号	年月日	内容

承認者	
検閲者	
製図者	